

全国同時 **七夕** 講演会2018

重力波で探る宇宙

大阪市立科学館

大阪市北区中之島4-2-1

2018年7月8日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

講師: 伊藤 洋介

大阪市立大学

大学院理学研究科 准教授



内容: 2017年のノーベル物理学賞は、重力波の直接検出に対して贈られました。この講演では、重力波直接検出の意義や、重力波で宇宙のどのようなことがわかるのかをわかりやすく解説します。

対象: 中学生以上を対象としていますが、どなたでも参加できます。

参加費: 無料

申し込み: 不要

お問い合わせ/詳細情報:

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/>

主催: 大阪市立大学, 大阪市立科学館, (公財)大阪科学振興協会, 日本天文学会

共催: (一社)日本天文教育普及研究会

後援: 日本学術会議

Image credit: The SXS (Simulating eXtreme Spacetimes) Project

「重力波で探る宇宙」

参加者募集

2009年は、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。

それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年とてもたくさんの方々に御参加いただき、主催者にとっても、楽しい講演会となっています。今年もまた皆様に宇宙の話を楽しんでいただくために、「全国同時七夕講演会」を開くことになりました。

この大阪市立科学館での講演会もその1つです。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

- 講師： 伊藤 洋介（大阪市立大学 大学院理学研究科 准教授）
- 演題： 重力波で探る宇宙
- 概要： 2017年のノーベル物理学賞は、アインシュタインが100年前に予言した重力波を直接捉えることに多大な貢献をした、アメリカの3人の科学者に贈られました。この重力波信号は、2つのブラックホールが合体して1つになるという、とてつもない天体現象から来ていると考えられています。でも見えないはずのブラックホールについて、なぜそんなことがわかるのでしょうか？ また、日本のKAGRAも含めた世界の重力波望遠鏡によって、我々の宇宙について今後どのようなことがわかると期待されているのでしょうか？わかりやすく解説します。

- 日時：平成30年7月8日（日） 14:00～16:00（開場13:30）
- 場所：大阪市立科学館 研修室（地下1階）
（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1）
- 対象：内容は中学生以上を対象としていますが、どなたでも参加できます
- 定員：80名（当日先着順、申し込み不要）
- 参加費：無料

【問い合わせ】

大阪市立大学 大学院理学研究科 物理学教室
<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/>
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 TEL：06-6605-2540, 2641, 2646

大阪市立科学館
<http://www.sci-museum.jp/>
 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
 TEL：06-6444-5656



会場へのアクセス：
 詳しくは「大阪市立科学館」のホームページをご覧ください。
<http://www.sci-museum.jp/info/access/>

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、日本天文学会
 共催：(一社)日本天文教育普及研究会
 後援：日本学術会議